

## 2021年度事業報告

### I. 2021年度事業方針

世代を超えた食文化研究の永続的な発展と、食文化の普及啓発へのさらなる貢献を目指す。  
食文化研究者の発掘・育成と研究・交流の場の継続的提供により、研究の更なる発展・拡大を図り、  
成果・知見の外部への体系的発信を通じて、食文化への関心を喚起し、理解を深める。

### II. 2021年度事業報告

#### 1. 食の文化フォーラム

(1) フォーラム 40周年記念 (2019-2022年度) の3年目としてフォーラム開催

##### 2021年度食の文化フォーラム

年間テーマ『現代社会と食のゆくえー日常の生活からグローバル世界までー』

コーディネーター：南 直人氏 (立命館大学) 総合司会：中嶋 康博氏 (東京大学)

セッション	タイトル	スピーカー(敬称略)
1. 食に映し出される現代の生活	① 食とジェンダー： 「母の手作り弁当」をめぐる歴史社会学 ② 食にかかわる知の伝達 ③ ジャーナリズムに描き出される食のいま ④ 人にとって”健康な食事”とは？	① 村瀬 敬子(佛教大学) ② 中澤 弥子(長野県立大学) ③ 長沢 美津子(朝日新聞社) ④ 津金 昌一郎 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
2. 多様化する食と社会	① 旅・観光の変遷と食との関わり ② 外食の現場からみた食の変容 ③ 食文化の「商品化」 ～地域ブランド資源としての食文化～ ④ 食と宗教： グローバル化の中の宗教的食規制	① 山本 志乃(神奈川大学) ② 生江 史伸(レフェルヴェンス) ③ 小林 哲(大阪市立大学) ④ 阿良田 麻里子(立命館大学)
3. 現代世界の中の食の課題と未来	① 経済の視点からみた食の現在 ② 食を根拠にした思想に向けて ③ グローバル化した食の未来 ④ 食文化フォーラム40周年企画の総括	① 中嶋 康博(東京大学) ② 藤原 辰史(京都大学) ③ 佐藤 洋一郎(京都府立大学) ④ 南 直人(立命館大学)
総合討論ー40周年記念3年間を通してー		

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表はオンライン視聴とし、討論は2021年  
9月25日にオンラインにて、2022年3月5日に対面・オンライン併用にて実施

(2) フォーラム 40周年記念書籍 「フォーラム 人間の食」(全3巻)

2020年度食の文化フォーラム成果を、2巻目として出版準備中(2022年6月出版予定)

フォーラム 人間の食 第2巻『食の現代社会論ー科学と人間の狭間からー』(伏木 亨氏 編)

#### 2. 食の文化シンポジウム

(1) 共催シンポジウム：人間文化研究機構共催

テーマ：『アフリカから食の豊かさを考える』

講演：「中部アフリカ・熱帯雨林の食と「豊かさ」」小松 かおり氏 (北海学園大学)

「アフリカの乾燥帯の食と「豊かさ」」池谷 和信氏 (国立民族学博物館)

トークセッション：ファシリテーター 神野 知恵氏 (人間文化研究機構)

パネリスト 小松 かおり氏、池谷 和信氏

2022年3月1日公開 (2021年11月収録、YouTube公開)

視聴数：計554 (2022年5月20日現在)

(2) 共催シンポジウム：人間文化研究機構共催（2020年度実施分）

2020年度開催「食のサステナビリティ～未来につなぐ食のあり方を考える～」について  
英語字幕版映像を制作、2021年7月公開（YouTube公開）

(3) シンポジウム（単独開催）

テーマ：『人間の食を考える－『食の文明論』からの展望－』

趣旨説明：池谷 和信氏（国立民族学博物館）

講演：

「食を求めて40年のフィールドワーカー写真からの視点－」森枝 卓士氏（ジャーナリスト）

「技術革新からみた食－分子調理からの視点－」石川 伸一氏（宮城大学）

「ホモ・サピエンス史からみた食－地図からの視点－」池谷 和信氏（国立民族学博物館）

トークセッション：

司会・コーディネーター 池谷 和信氏、登壇者 森枝 卓士氏、石川 伸一氏

12月18日開催（有聴衆・同時配信併用）

視聴数：会場参加43名、視聴173名

### 3. 食の文化研究助成

(1) 2021年度食の文化研究助成（2021年7月1日～8月31日募集）

応募25件から選考委員会で9件採択

研究課題 研究者（申請時の所属・肩書）（敬称略）	共同 研究者	助成金 （千円）	研究期間 （年）
考古資料に含まれる残存有機質情報の抽出による古食性と生活の復元 押鐘 浩之（帝京大学医療技術学部臨床検査学科・講師）	3名	1000	1
日本における烏龍茶生産にみる日本と台湾の交流 樺島 彩波（奈良女子大学人間文化総合科学研究科人文社会学専攻・博士前期課程）		880	1
島嶼域における食文化の変容を歯の咬耗、歯石、骨コラーゲンで探る 澤浦 亮平（沖縄県立博物館・美術館・学芸員）	2名	1000	2
アフリカの発酵文化・根栽作物エンセーテの発酵澱粉を主食とするエチオピア南西部を事例に 下山 花（京都大学 アジア・アフリカ地域研究研究科・一貫制博士課程）		1000	2
インドネシア女性のライフステージにおける健康的食文化研究：薬草飲料ジャムウの事例 杉野 好美（京都大学 アジア・アフリカ地域研究研究科・一貫制博士課程）		1000	2
日本や東南アジア諸国のモチ食文化や雑穀類の遺伝的多様性の把握～琉球弧のアワはどこから伝播したのか～ 玉木 陸斗（東京農業大学大学院 農学研究科農学専攻・博士課程前期）		1000	1
「食べるお茶」のエスノグラフィ：四国における番茶の生産・流通・消費に関する広域調査と保全 内藤 直樹（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部・准教授）	1名	1000	2
食肉代替食品の社会的受容性の検討：社会的実践理論からのアプローチ 藤原 なつみ（九州大学 基幹教育院・特任助教）		960	1
戦国期毛利氏の饗応食再現を通じた中世の食の考察とその継承のための教育資料の作成 渡壁 奈央（県立広島大学大学院 総合学術研究科・修士課程）	2名	982	1

2019年助成者1名（研究期間2年への延長者）

新型コロナウイルス影響および家庭事情による辞退の申し出あり、助成金の全額返金を受けた

(2) 2021年度贈呈式・中間報告会（2022年3月9日）：オンラインにて開催

(3) 研究助成対象者専用オンライン交流サイト：Web上の交流サイトを制作、2022年度運用開始予定

### 4. 食文化誌『vesta』

(1) 販売実績

	特集テーマ	アドバイザー	雑誌販売数 （～2022.3）	電子版購読者数(UU)		発行年月
				Kindle （～2021.12）	auブックパス （～2022.3）	
122	世界の台所	石毛 直道氏	1,219	209	136	2021年4月
123	コロナと食文化	岩田 三代氏	1,256	115	47	2021年7月
124	食の装い	朝倉 敏夫氏	1,224	57	53	2021年10月
125	世界の豆食文化	小磯 千尋氏	1,253	未	68	2022年1月
		前年比	100%	88%	58%	

(2) 「みる vesta～食文化の世界～」制作

特集内容を紹介する映像（1分、10分）を122号より制作開始、YouTube・Instagramにて公開

## 5. 公開施設（ライブラリー・企画展示室）

### (1) ライブラリー実績（2022年3月末現在）

新規購入冊数	958冊	(対前年比 142.6%)
来館者数	3,622人	(対前年比 111.6%)
新規会員登録数	251人	(対前年比 92.3%)
貸出冊数	5,983冊	(対前年比 106.9%)
画像データ有償提供	30件(51作品)	(対前年比 103.4%)

### (2) ライブラリーリニューアルに向けたコンセプト検討

2024年度改装を目指し、利用者・非利用者へのデプスインタビューを実施後、基本コンセプトのスタディーを開始した

### (3) 映像制作

料理書の歴史と食文化の変遷（江戸～昭和初期）を紹介する展示室既存映像（約5分）のロングバージョンとなる映像『料理書』に学ぶ、その歴史と魅力（約25分）を制作（江原 絢子氏監修）  
2022年度公開予定

### (4) 国立国会図書館（NDL）データ連携

食の文化ライブラリーが所蔵する、江戸の図書、錦絵（含：東都高名会席尽）、雑誌『食道楽』、『料理の友』、『vesta』の目録を国立国会図書館サーチに連携  
国立国会図書館サーチにて、目次等に含まれる内容も検索可となった（2021年12月）

### (5) 貴重書デジタルデータ

所蔵する貴重書（明治～昭和30年代の図書および雑誌、『料理の友』、『食道楽』）をデジタル化し館内でデータ閲覧できるシステムを構築、2022年度中に公開予定

## 6. Web・SNSを通じたコミュニケーション

(1) ホームページ：年間のべ訪問者 110,150人（前年比 103%）

(2) Facebook: 2022年3月末フォロワー 1,634人（前年比 109%）、いいね！1,487人（前年比 109%）

(3) Instagram：2022年3月末フォロワー 331人（前年比 276%）

(4) YouTube：2022年3月末チャンネル登録者 281人（2021年7月末比 218%）

(5) メールマガジン：月1回発行 2022年3月末会員 2,792人（前年比 108%）

## 7. 外部協力・連携

### (1) 所蔵資産活用

①藤澤浮世絵館「浮世絵でみる江戸の暮らしと食の歳時記」展（2021年11月16日～12月12日）  
錦絵18点を貸出（出品作品総数57点）

②茨城県立歴史館「華麗なる明治 一宮廷文化のエッセンス」展（2022年2月19日～4月10日）  
秋山徳蔵メニューカード1点（天長節晚餐メニュー）を貸出

## 8. 事業共通

### (1) 財団広報

当財団の認知拡大を目指し、石毛直道氏インタビューを通じて財団の成り立ちと活動概要を紹介する記事広告を出稿した（2022年3月27日、日本経済新聞社）

## 9. 理事会・評議員会

	開催年月日	主な議事
定時評議員会	2021年6月24日	第1号議案:議長選出の件 第2号議案:議事録署名人選任の件 第3号議案:2020年度事業報告と決算に関する件 第4号議案:理事選任の件 第5号議案:評議員選任の件 [報告事項]味の素株式会社および関連企業との2020年度取引実績
臨時評議員会	2021年12月24日	第1号議案:「役員及び評議員の報酬に関する規程」改定の件
第1回理事会(オンライン)	2021年6月2日	第1号議案:2020年度事業報告と決算に関する件 第2号議案:2021年度定時評議員会開催の件 第3号議案:理事候補者指名に関する件 第4号議案:評議員候補者選定に関する件 [報告事項]味の素株式会社および関連企業との2020年度取引実績
第2回理事会(オンライン)	2021年6月24日	[報告事項]代表理事・業務執行理事の業務執行報告
第3回理事会(オンライン)	2021年6月24日	第1号議案:理事長・副理事長・専務理事の互選の件 第2号議案:名誉顧問選任の件
第4回理事会(書面開催)	2021年12月1日	第1号議案:2021年度食の文化研究助成対象の採択の件 第2号議案:2021年度臨時評議員会開催に関する件
第5回理事会(オンライン)	2022年2月22日	第1号議案:2022年度事業計画及び予算案の件 第2号議案:2022年度における味の素株式会社およびその関連企業との取引予定金額の件 [報告事項] ①代表理事 業務執行報告 ②業務執行理事 業務執行報告

以上